

耳鼻いんこう科紹介

総合水沢病院 耳鼻いんこう科長 高橋邦明

耳鼻いんこう科をこの4月から担当することになりました高橋です。よろしくお願いします。



耳鼻咽喉科の診療範囲について簡単にご説明し、当科において今後どのような診療が可能となるかご紹介したいと思います。

耳鼻咽喉科は頸から上の臓器、器官から視器と脳を除いた範囲で、この中には聴覚の他に平衡覚、嗅覚や味覚といった感覚器、気道の一部を構成し発声を担う上気道、摂食嚥下に関与する口腔咽頭腔が含まれ、これらが交叉することから、生命、生活の質に直接かわる重要な臓器をその守備範囲とします。最近は頭頸部外科とも併記また表されることも多くなりました。

急性、救急症状としては、突発的な難聴、めまい、耳痛、顔面麻痺、鼻出血、咽頭痛、嚥下困難、発声困難、頸部の痛みを伴う腫脹などの重篤な病態に、他科との協力を得ながら対応します。

難聴や嚥下障害など加齢に伴う特有の機能低下にお困りの患者さんに対し、専門外来を設け、詳細な機能検査を行い、最適な治療法を提案していきたいと思います。また、嚔声や嚥下時の違和感は当科を受診される患者さんの訴えとしてよくあるものですが、このような中に重大な疾患が隠れていることもあり、見逃しの無いようビデオ内視鏡検査やエコー検査を充実させていきたいと考えております。

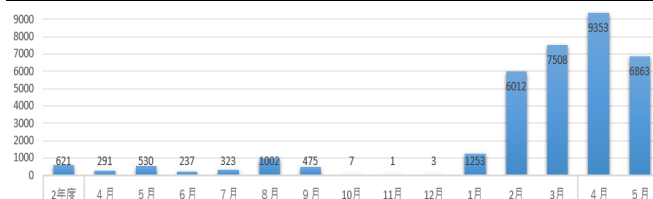
当科での手術治療としては、しばらくは単独で可能な、内視鏡を使用した副鼻腔や咽喉頭、中耳の鏡視下手術を進めるべく、準備をしております。



岩手県内の新型コロナウイルス感染の状況

岩手県内の新型コロナウイルス陽性者は、5月29現在で34,478人、5月の感染者は29日現在で6,836人／月と引き続き高い水準にあります。死亡者数は今月5人増加し、累計で90人。

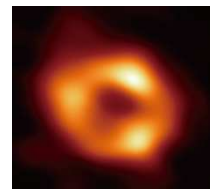
年度	2年度	3年度												4年度	
月	2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
件数	621	291	530	237	323	1002	475	7	1	3	1253	6012	7508	9353	6863



県内の年代別コロナ患者数 R2.3~4.5.29 現在 (単位:人)

年代	10未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	合計	比率・累計	症状無	累計比率
男性	3345	3668	2342	2435	2309	1271	884	523	319	99	17195	50%	1368	8%
女性	3071	2602	2219	2960	2622	1379	970	575	526	359	17283	50%	1251	7%
合計	6416	6270	4561	5395	4931	2650	1854	1098	845	458	34478	100%	2619	8%
比率	19%	18%	13%	16%	14%	8%	5%	3%	2%	1%	100%			
年代別	12278人37%		17537人51%				4255人12%							

トピックス 5月12日 奥州市の国立天文台水沢VLBI観測所(本間希樹所長)の研究者を含む国際チームは12日、地球が属する天の川銀河の中心にあるブラックホール「いて座Aスター」の輪郭を撮影したと発表した。



大谷翔平選手の成績ボード (R4.5.30 現在)

打者 打率 249 本塁打 11 打点 31 盗塁 7

投手 勝利 3 敗戦 3 防御率 3.45 奪三振 63

5月14日(15日) 大リーグ通算 100 本塁打を記録

5月22日(23日) 日米通算 150 本塁打を記録

SYOHEI ニュース

奥州市医師養成事業の養成医師・奨学生(含家族)・奥州市医療局関係職員向けの情報紙です。

奥州市医療局HPにバックナンバーを掲載しています。

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。

令和4年5月30日発行 奥州市医療局医師確保推進室

〒023-0053 奥州市水沢大手町 3-1 TEL0197-25-3833

武家住宅資料館（水沢吉小路）

ぶらり奥州散歩道 VOL. 9 広報おうしゅう平成 18 年 11 月号他

平成 5 年に開館した武家住宅資料館は、内田家旧宅（市指定文化財）、武家住宅資料センター、吉小路の通りを挟んだ後藤新平旧宅（県指定文化財）の 3 つの建物で構成されています。いずれも江戸時代の水沢を知る資料を展示しています。



①内田家旧宅の正面玄関②この日は盛岡から来たという女性グループが台所の囲炉裏を囲んで談笑③奥座敷のふすまには十字架をあしらった引き手。教会代わりとして使用された歴史も④武家住宅資料センター。床面には水沢の今と昔の町並みを比較する地図が広がる

当時この地を治めた留守氏は、仙台伊達藩の北辺を守る任にあたりました。本拠の水沢城は現在の市役所本庁舎を含め北西部に広がり、吉小路周辺は武家屋敷が立ち並ぶ城下の中心地となっていました。

内田家旧宅では、吉小路に面した堂々とした「薬医門」をくぐると、高い木々が作る陰が優しく出迎えてくれます。四脚の門は、格の高い武士の屋敷であることを感じさせます。そのまま進むと屋敷の正面玄関。江戸時代にこの玄関を利用できたのは一定の身分以上の人たちだけでした。

約 53 坪の主屋には上座敷、次座敷、茶の間、脇の間、台所などが並んでいます。内田家は弘化 4（1847）年の記録では、留守家からの給与に当たる禄高が家老に次ぐ 2 番目となっていました。

平成 2 年に旧水沢市が建物を取得。復元して開館後は無料休憩所も兼ね、市民や付近の子供たちの憩いの場所となり、俳句会や食事会などにも利用されています。かやぶき屋根を保護するため、台所の囲炉裏には毎日のように火が入れられるなど、単に展示を見るだけではない懐かしい感覚が味わえます。



内田家旧宅の『薬医門』



後藤新平旧宅



現在、水沢城（水沢要害、通称：臥牛城）があった一帯は市役所や合同庁舎、住宅地などに変わっていますが、城の周囲に植えられていたうちのひとつとされる、市役所前にそびえる姥杉が往時の姿を今に伝えています。

要害とは、仙台藩における支配拠点の呼び名のひとつで、幕府に公認された「城」に準ずる扱いを受けていました。

- ◇所在地 = 〒023-0054 岩手県奥州市水沢吉小路 43
- ◇開館時間 = 午前 9 時～午後 4 時半（入館無料、有料で貸し切り利用も可能）
- ◇休館日 = 毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
- ◇問い合わせ = 武家住宅資料館（電話 0197-22-5642）へ
- ◇HP = <http://www.city.oshu.iwate.jp/>